


滝川の芸術作品が集まる美術館

美術館には、滝川ゆかりの芸術家たちの作品を展示しています。作品の多くには、まちの自然や暮らし、時代の姿が描かれ、芸術を通して、滝川の魅力を感じることができます。


岩橋英遠 いわはしえいえん 1903~1999



江部乙出身の日本画家
新しい日本画の表現を追求し、日本美術院で活躍を続け、1994年に文化勲章を受章。

大自然の事象を詩情豊かに、壮大なスケールで表現した独自の世界観を持つ、深い精神性とすぐれた造形力を兼ね備えた作品が特徴的です。

一木万寿三 いちきますみ 1903~1981



滝川出身の洋画家
人物画を得意とし、26歳のとき帝展に初入選。1977年に北海道文化賞を受賞。

戦前は暗く重たい色調の作品を描いたのに対し、戦争疎開後は、りんご園の風景や、人物と景色を組み合わせた心温まる平明な油彩を残しています。

2人のつながり

2人は、少年時代を江部乙でともに過ごし、それぞれが画家への道を志しました。日本画と洋画という異なる道ではありながら、互いを認め合い、独自の芸術世界を築きました。ふるさとへの思いが生んだ作品の数々をぜひご鑑賞ください。

地域とつながる


美術自然史館は、滝川市の文化や芸術を伝える拠点であるとともに、地域の文化活動や市民交流を支え、市民とともに滝川の魅力を発信していく役割もあります。

明苑中学校巨大画




2010年から始まった活動で、明苑中学校美術部の皆さんが、特別展にちなんだ巨大画を作成し、ロビーに展示。

市民による展示会




企画展示室やギャラリーは、書道展・美術協会展・児童生徒作品展など、市民の活動発表の場としても活用されています。

ロビーコンサート



ロビーでは、さまざまなコンサートが開催され、広々とした空間で、自然の風景を背面に心地よい演奏が響き渡ります。

チョッちゃんのお宝展示



名誉市民 黒柳朝ちようさんが長年かけて集めた、近代ヨーロッパの雰囲気漂わせるアンティークコレクションを展示。


喫茶マーメイド(水・金曜日営業)



地域ボランティアの皆さんが、地元の喫茶店の豆を使用した香り豊かなおいしいコーヒーを提供しています。

喫茶店ボランティアの方に美術自然史館の魅力を聞いてみました

青木 優博まさひろさん



美術自然史館の魅力は展示だけではありません。直線と曲線が美しく組み合わせられた建物は、訪れる人に、特別な空間へ足を踏み入れたような感覚をもたらします。ロビーでは、喫茶店でコーヒーを楽しむことができ、コンサート開催時には演奏が美しく響き渡ります。建物や喫茶店、そして展示が一体となって作り出す空気感こそが、美術自然史館ならではの魅力です。

あなたも美術にふれてみませんか

人物デッサン会 裸婦デッサン会
・9/6(日) ・11/8(日)
・10/4(日) (1,000円)
(300円)



人物モデルをデッサンして、絵画の基礎を学ぶことができます。
※申し込み不要、画材を持参ください

特集

美術自然史館 40周年

美術自然史館は今年9月に開館40周年を迎えます。開館から40年、美術館と自然史館という2つの機能を併せ持ち、滝川の自然や歴史、文化にふれる場として、多くの市民に親しまれています。本特集では、美術自然史館の誕生を振り返るとともに、美術自然史館の魅力を紹介いたします。

美術自然史館誕生までの歩み

美術館構想のきっかけ	自然史館構想のきっかけ
<p>郷土館が開館 滝川での暮らしや生活に関する貴重な資料を展示し、歴史や民俗を紹介する博物館が開館。</p>	<p>1977</p> 
<p>滝川市郷土美術館建設基本構想策定委員会設立 郷土館の資料には、評価の高い美術作品も集められた。それらの保管・展示で美術館の必要性が提起され、郷土美術館建設の可能性を検討する委員会を設立。</p>	<p>1978</p> 
	<p>1980</p> <p>タキカワカイギュウの化石発見 タキカワカイギュウの研究や保管など、自然科学活動を行う拠点の設置が重要視された。</p>
	<p>1983</p>

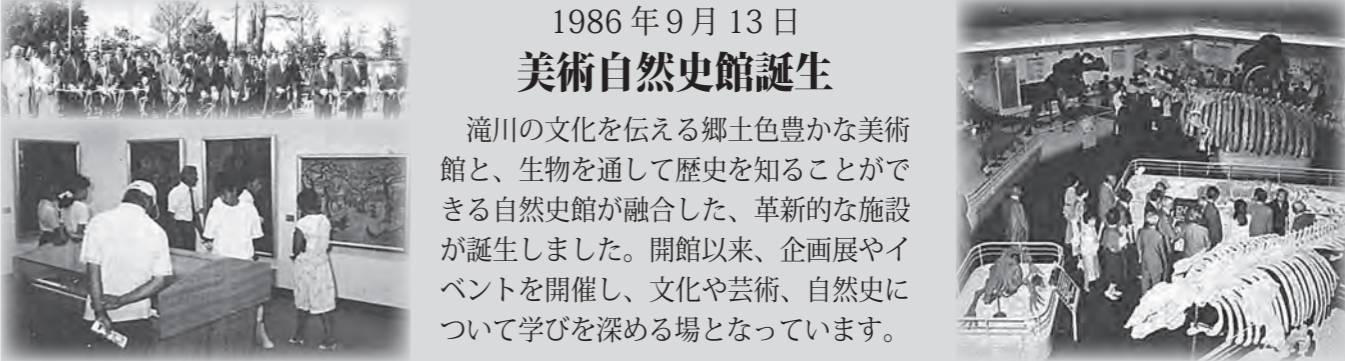
2つの構想が交わる

滝川市郷土美術館建設基本構想策定委員会は、充実した文化芸術活動の必要性と、タキカワカイギュウへの関心の高まりを受け、「美術・自然館構想」を報告した。これを踏まえて市は、施設規模と運営面を勘案し、美術館と自然史館の機能を併せ持つ、新しい形態の施設となる美術自然史館の建設を決定した。

1986年9月13日

美術自然史館誕生

滝川の文化を伝える郷土色豊かな美術館と、生物を通して歴史を知ることができる自然史館が融合した、革新的な施設が誕生しました。開館以来、企画展やイベントを開催し、文化や芸術、自然史について学びを深める場となっています。



<開館 40 周年記念特別展>



ふたりの画家
英遠と万寿三展

期間
8/8(土)
～10/12(月)

日本画と洋画、異なる表現を極めた2人の画家展
岩橋英遠と一木万寿三は、現在の滝川市江部乙町の隣家でともに育ち、果樹栽培などの農作業に励みながら、画家への道を歩みました。

果樹園で育った2人の思い出の象徴であり、作品にも描かれている「りんご」をテーマとし、友情の軌跡をたどりながら、北海道の自然が育んだ芸術の源流を探ります。

特別展観覧料
一般 500円
高校生以下 無料
観覧料+入館料
一般 1,000円

学芸員による解説で、理解を深めてみませんか。

- ギャラリートーク
8/16(日)、10/4(日)
13時30分～
- 講演会
9/13(日) 13時30分～

開館 40 周年記念
向井一勝 講演会
8/23(日)
10時30分～
**小さな生き物から見る太古の海原
～まだ見ぬ化石を追いかけて～**

過去 40 年の特別展を厳選してご紹介します

1989年
レオナルド・ダ・ビンチ展

ダ・ビンチの手稿をもとに再現されたヘリコプター・垂直飛行機など、52点の模型を展示。

1992年
手塚治虫展

天才マンガ家・手塚治虫の膨大な作品から、厳選された代表作の原画と、「赤本」と呼ばれる初期単行本や遺品などを紹介。

2001年
テレジン 強制収容所の若い画家たち展

ユダヤ人の強制収容所で、飢えと寒さの中でも生きる希望を持ち続けた子どもたちの絵を撮影した、写真とパネルを展示。

2008年
化石展 「MESSAGE 太古からの警告」

道内で発掘された化石が集められ、地球と人との関わりをテーマに地球の歴史や環境の変化について紹介。

2020年
カイギュウの見た夢

タキカワカイギュウ発見から40年を記念して、38年ぶり2回目のタキカワカイギュウ全身骨格の展示が行われた。

2022年
石油ヲ造レ 東洋一の人造石油滝川工場

戦前から戦後にかけて滝川の発展を支えた、北海道人造石油(株)滝川工場を模型で再現するなど、歴史と役割を紹介。

40年間という長い年月、美術自然史館が守り続けてきた作品や展示には、その時代を生きた人々の思いや、滝川の自然・歴史・文化が刻まれています。そして、美術自然史館は地域の人々が集まり、交流し、新たな学びや発見が生まれる場所でもあります。美術自然史館には、ここにしかない貴重な展示や作品が数多くあります。ぜひ、実際に足を運び、発見や感動を体感してみてください。

基本情報

住所 新町2丁目5番30号
電話 23-0502
時間 10:00～17:00(最終入館 16:30)
休館 月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日・冬期休館(12月1日～2月末)

入館料

大人	高校生	中学生	小学生	幼児
630円	380円	250円	120円	無料

未来へつなぐ自然史館

1980年に空知川で発見された化石は「タキカワカイギュウ」と名付けられ、北海道の文化財に指定されました。滝川市の貴重な財産が、人々の努力と知恵によって、今も多くの市民や子どもたちの学びの場に活用されています。



展示を支える技術

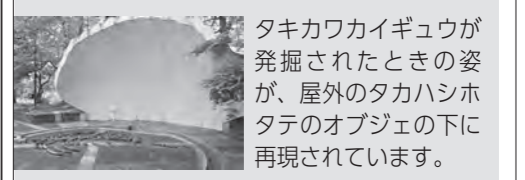


発見されたタキカワカイギュウは、広く市民の教育に役立てるために、市民の手で発掘から研究まで行われました。その過程で生まれたのが、正確で低コストな独自のレプリカ作製技術で「滝川方式」と呼ばれるものです。

1982年、この技術を活用して作製されたタキカワカイギュウの全身骨格レプリカが北海道博覧会で展示されました。また、アメリカ合衆国のカリフォルニア大学からヨルダニカイギュウ標本を運び、レプリカを作製するなど、美術自然史館の展示を支える重要な技術となりました。あらゆる史料をできる限り忠実に残し、多くの人々が自然の歴史にふれることを可能にしたこの技術は、自然史教育の普及と発展に大きく貢献しています。

タキカワカイギュウ発掘の歴史をたどる

発掘当時の様子を再現!

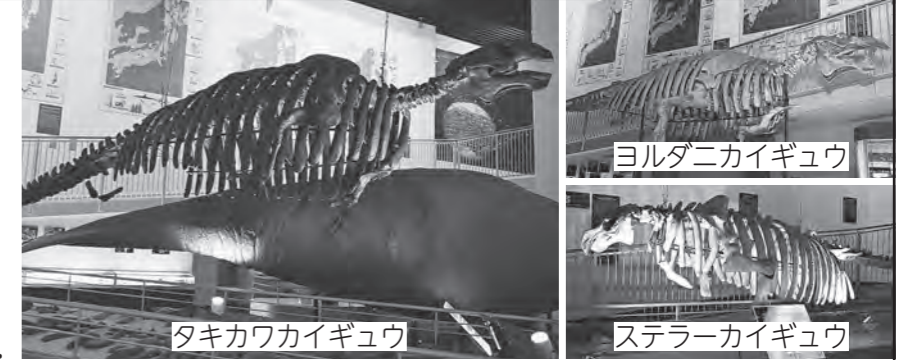


幼体の骨の実物を展示!

1986年に発見されたタキカワカイギュウの子どものろっ骨の化石を常時展示しています。

**自然史館で学ぶ
カイギュウにふれる**

かつて海だった滝川の姿を想像しながら、タキカワカイギュウについて学び、異なる種のカイギュウと見比べることで、その特徴や進化の過程への理解を深めることができます。



太古の生命を知る
人類誕生前の生物にふれ、生命の進化や地球環境の変化について学ぶことができます。

体験する
化石やレプリカを活用し、自然史の魅力を楽しく学べる体験型イベントを開催しています。

- ミニ化石発掘体験
砂のブロックを削って、本物の化石を発掘
- 化石レプリカ作り
シリコンと石こうで本物そっくりなレプリカを作成

古生代 中生代 新生代

新種の化石を発見!!



空知川で新属・新種の化石を発見し、「ウッデルティア ソラプチエンシス」と命名し昨年12月に発表

人生を決めるきっかけになった場所 北海道大学理学院 向井一勝さん

幼稚園児のころ、美術自然史館に毎週のように通い、タキカワカイギュウのレプリカを「すごいな」と純粋な気持ちで見っていました。そこから、発掘体験に参加し、実際に化石を発見する中で、これを研究したいと古生物学者を目指すようになりました。

美術自然史館で教わったことや、発掘体験での経験は、今の研究にもつながっています。美術自然史館には、興味を広げられるきっかけがたくさんあります。皆さんにも、美術自然史館で、化石やレプリカを自分の目で直接見てほしいです。